

# 施策評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	文化芸術の振興を図る		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	体育振興課

## めざす暮らしの姿

市民一人ひとりがライフステージに応じて自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送っている姿をめざす。

## 基本方針

市民が文化芸術や市内にある貴重な文化財に触れる機会、文化活動に参加し個性・創造性を伸ばせる機会を提供します。

## 施策の方針

文化会館で多様なイベントを開催し、市民に文化芸術に触れる機会を提供します。また、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化団体及び市民グループの育成を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		4.39	3.44	4.37	3.79	3.53
会計年度任用職員数		2.38	3.85	3.85	3.21	3.21
人件費計		33,144,535	31,954,580	34,120,036	29,398,234	27,711,378
事業費計		88,328,256	114,988,533	115,553,000	126,926,000	115,598,000
フルコスト		121,472,791	146,943,113	149,673,036	156,324,234	143,309,378

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金			5,000,000	0	0	0
県支出金					0	0
市債					0	0
その他		10,256,700	12,070,000	12,070,000	0	0
一般財源1		111,216,091	129,873,113	137,603,036	156,324,234	143,309,378
一般財源2		78,071,556	97,918,533	103,483,000	126,926,000	115,598,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		1,200	1,200	1,200	1,200	
単年度実績値		1,070	1,098			
単年度達成率	-	89.16%	91.5%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	文化協会会員数
前年度との比較	↑：向上
所見	新規加入団体もあり、会員数は増加傾向にある。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
文化振興補助金事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	団体数、会員数ともに毎年増加しているの、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。	ここ数年、相生市文化協会に新規に加入する団体がある。引き続き、相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。	引き続き、優れた取組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	
文化振興事業	C:改善・見直しの上で継続	C:改善・見直しの上で継続	A
	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために、文化祭・美術展を開催することは不可欠であるが、発表者にとって、より満足度の高い事業となるよう改善を加える必要がある。	
相生市文化会館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	幅広い世代が参加できる事業を創出しながら、親しみのある会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで利用者にとって安心安全な会館を目指していく。	引き続き、幅広い年代の方々を対象に鑑賞と発表の両面から多彩な自主事業を計画し、市民が文化芸術に触れる機会の充実を図る。 また、計画的な維持修繕により、市民が快適に過ごすことができる施設の維持に努める。	
文化財事業	A:拡大	C:改善・見直しの上で継続	A
	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。	学芸員の採用を計画していたが採用に至らなかった。引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。	
資料館管理事業	A:拡大	A:拡大	A
	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。	長年の懸案事項であった、空調設備の設置が完了した。引き続き、貴重な資料が適切に保存することが出来る環境と来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	功績に相応した顕彰を贈呈していく。	引き続き、功績に対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。	



# 施策評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち				
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり				
基本施策	社会教育環境の充実				
取り組み事項	人権啓発活動を推進する				
主管部局	教育委員会 人権教育推進室	関連部局			

### めざす暮らしの姿

市民の生活スタイルの多様化に伴い、市民の学習ニーズは多様化しています。めざす暮らしの姿として、市民一人ひとりが自主的・自発的に活動を行い、心豊かで充実した生活を送っていくためには、ライフステージに応じた学習機会の一層の充実と多様な文化芸術及び郷土の歴史文化に触れる機会を充実させていきます。

### 基本方針

人権学習の場の整備や学習内容の充実を図り、現代の課題に応じた学習プログラムを提供します。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努めます。

### 施策の方針

市民人権学習、人権の集いの実施、啓発情報誌「ひとみ」の発行など、市民一人ひとりが人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める取組の充実を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
会計年度任用職員数		0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
人件費計		7,035,968	7,820,604	6,863,057	6,863,057	6,863,057
事業費計		4,904,251	4,927,299	6,626,000	6,626,000	6,626,000
フルコスト		11,940,219	12,747,903	13,489,057	13,489,057	13,489,057

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金			0		0	0
県支出金		162,000	542,000	542,000	542,000	542,000
市債					0	0
その他					0	0
一般財源1		11,778,219	12,205,903	12,947,057	12,947,057	12,947,057
一般財源2		4,742,251	4,385,299	6,084,000	6,084,000	6,084,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		1,800	1,800	1,800	2,000	
単年度実績値		1,867	1,672			
単年度達成率	-	103.72%	92.88%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	市民人権学習会への参加者数
前年度との比較	↓：低下
所見	参加団体・参加人数ともに前年度よりも若干減少した。5年度は、コロナにより参加を控えていた団体に働きかけ、参加団体・人数ともに増やしていく。





# 施策評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	生涯学習環境をつくる		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

市民一人ひとりが自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送れることを目指す。

## 基本方針

市民が生涯にわたって学習が行えるよう、ライフステージに応じた学習内容を提供する。また、生涯学習施設の適切な修繕を行い、施設の長寿命化を図ることで、市民が安心して学ぶことができる環境の確保を図る。

## 施策の方針

生涯学習の場の整備と学習内容の充実を図り、ライフステージに応じた学習プログラムの充実に努める。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努める。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.49	0.49	0.67	0.0	0.0
会計年度任用職員数		8.42	9.18	9.08	0.0	0.0
人件費計		15,182,607	17,194,170	17,950,080	0	0
事業費計		7,233,565	7,089,376	7,507,000	0	0
フルコスト		22,416,172	24,283,546	25,457,080	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金					0	0
県支出金					0	0
市債					0	0
その他		877,000	1,303,000	1,303,000	0	0
一般財源1		21,539,172	22,980,546	24,154,080	0	0
一般財源2		6,356,565	5,786,376	6,204,000	0	0

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	公民館等施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		60,000	60,000	60,000		
単年度実績値		41,081	45,557			
単年度達成率	-	68.46%	75.92%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	公民館等施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	コロナ禍も落ち着き、学習活動も活発にありつつあるがコロナ前の水準には戻っていない。





# 施策評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
主管部局	教育委員会 体育振興課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

社会教育環境の充実

## 基本方針

スポーツ施設を活用し、誰もがライフステージに合わせてスポーツを生活に取り入れ、健康で文化的な生活が送れるようスポーツ活動の推進を図ります。

## 施策の方針

スポーツ施設について、施設の計画的な整備改修と管理運営に努めます。  
誰もがライフステージに合わせてスポーツを楽しめるよう、スポーツ教室や大会などイベントを実施します。また、体育協会や地域スポーツクラブなどの活動を支援します。  
市民自らが主人公としてスポーツ活動を推進していくため、地域スポーツの担い手・リーダーの発掘と育成に努めます。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		3.74	3.74	3.74	3.19	0.0
会計年度任用職員数		0.77	0.77	0.77	0.75	0.0
人件費計		26,466,040	29,738,335	25,418,352	21,820,040	0
事業費計		64,617,497	70,836,683	204,588,000	201,192,000	0
フルコスト		91,083,537	100,575,018	230,006,352	223,012,040	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金			2,000,000		0	0
県支出金					0	0
市債			7,300,000	140,500,000	140,500,000	0
その他		4,731,610	5,052,000	5,634,000	5,634,000	0
一般財源1		86,351,927	86,223,018	83,872,352	76,878,040	0
一般財源2		59,885,887	56,484,683	58,454,000	55,058,000	0

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	スポーツ施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		221,400	221,400	221,400	221,400	
単年度実績値		184,927	216,106			
単年度達成率	-	83.52%	97.6%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	スポーツ施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用のキャンセル等があったが、感染症対策を十分に行い事業等を実施し、結果として施設利用者が増加した。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
市民体育館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。	
市民プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。	
市民グラウンド管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。	
温水プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	
社会体育振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	
ジュニアスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	
レクリエーションスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	
スポーツ教室事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人の触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。	



# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010001	事務事業名	文化振興補助金事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。		
対象	市内を活動の基盤とする芸術文化団体		
目的	市民の芸術文化活動を支援することにより、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図ることを目的としている。		
事務事業類型	施設等整備事業(ハード事業)		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		610,790	688,488	583,911	583,911	583,911
事業費計		622,000	590,000	940,000	940,000	940,000
フルコスト		1,232,790	1,278,488	1,523,911	1,523,911	1,523,911

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		1,232,790	1,278,488	1,523,911	1,523,911	1,523,911
事業費計ー特定財源		622,000	590,000	940,000	940,000	940,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		1,200	1,200	1,200	1,200	
単年度実績値	1,110	1,070	1,089			
前年比	-	96.39%	101.77%	-	-	-
単年度達成率	-	89.16%	90.75%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		1,027.325	1,065.4067	1,269.9258	1,269.9258	
単年度実績値	521.6216	1,152.1402	1,174.0018			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市の支援が不可欠である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	補助金の適正化を検討していく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会加入団体が増え、組織として拡大をするよう努めている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	団体数、会員数ともに毎年増加しているので、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。
休止・廃止となったときの影響	各団体の自主事業が行いにくくなり、相生市の文化芸術が衰退していく。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	ここ数年、相生市文化協会に新規に加入する団体がある。引き続き、相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010002	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る		
部名	教育委員会	課名	生涯学習課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。				
対象	権威ある大会等において成績が顕著な者				
目的	市民に顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となり、市民の文化活動レベルの向上が期待される。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化振興芸術基本法 相生市文化芸術顕彰に関する要綱				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		203,596	229,496	194,637	194,637	194,637
事業費計		76,000	103,710	216,000	216,000	216,000
フルコスト		279,596	333,206	410,637	410,637	410,637

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		279,596	333,206	410,637	410,637	410,637
事業費計－特定財源		76,000	103,710	216,000	216,000	216,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		4	4			
単年度実績値	1	2	2			
前年比	-	200%	100%	-	-	-
単年度達成率	-	50%	50%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		69,899	83,301.5			
単年度実績値	17,200	139,798	166,603			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市からの顕彰は必要である。	あり
有効性	B: 比較的有効である	文化活動レベルの向上が期待される。顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	情報把握の効率性、正確性を高めていく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各文化団体などとの情報共有に努める。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会などへの周知をはじめ、各種文化芸術団体と連携を図る。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動が停滞してしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、優れた取組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010003	事務事業名	文化振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	文化祭・美術展を実施する。		
対象	市民		
目的	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われ、こころ豊かな生活が送れるようにする。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.82	0.82	0.77	0.77	0.77
会計年度任用職員数		0.08	0.21	0.21	0.21	0.21
人件費計		5,677,632	6,580,481	5,310,302	5,310,302	5,310,302
事業費計		2,494,717	2,534,204	2,541,000	2,541,000	2,541,000
フルコスト		8,172,349	9,114,685	7,851,302	7,851,302	7,851,302

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		8,172,349	9,114,685	7,851,302	7,851,302	7,851,302
事業費計－特定財源		2,494,717	2,534,204	2,541,000	2,541,000	2,541,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】文化祭及び美術展の出演出展者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		2,200	2,200	2,300	2,300	
単年度実績値		2,191	2,222			
前年比	-	-	101.41%	-	-	-
単年度達成率	-	99.59%	101%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	出演者及び出展者数あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		3,714.7041	4,143.0386	3,413.6096	3,413.6096	
単年度実績値		3,729.963	4,102.0185			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	美術展等芸術文化に触れる機会を提供し、市民が自発的に芸術文化活動を行うことにより、こころ豊かな生活が送れる。	あり
有効性	B: 比較的有効である	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。文化の発展を促進するために、市内の参加率向上をめざす。文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。	あり
効率性	A: 効率性が高い	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行った。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるよう見直しを行う。	あり
透明性	A: 透明性が高い	広報等を通じて、広く市民に参加していただけるよう情報提供を行っている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動の発表の場が減ってしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために、文化祭・美術展を開催することは不可欠であるが、発表者にとって、より満足度の高い事業となるよう改善を加える必要がある。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010004	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る		
部名	教育委員会	課名	生涯学習課		
事業の開始	令和4年度	終了年度	なし		
実施の概要	文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。				
対象	全市民				
目的	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	教育振興基本計画				
根拠法令	条例・規則・要綱				
	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		2.06	2.06	2.04	2.04	2.04
会計年度任用職員数		1.56	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費計		16,177,125	18,688,100	16,231,634	16,231,634	16,231,634
事業費計		80,330,734	98,901,596	106,453,000	119,553,000	108,413,000
フルコスト		96,507,859	117,589,696	122,684,634	135,784,634	124,644,634

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	10,256,700	12,070,000	12,070,000	0	0
フルコスト－特定財源	86,251,159	105,519,696	110,614,634	135,784,634	124,644,634	
事業費計－特定財源	70,074,034	86,831,596	94,383,000	119,553,000	108,413,000	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		150,000	150,000	150,000		
単年度実績値		93,522	127,274			
前年比	-	-	136.08%	-	-	-
単年度達成率	-	62.34%	84.84%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		643.3857	783.9313	817.8976		
単年度実績値		1,031.9268	923.9098			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	国や市の方針に基づいた会館のガイドラインを作成し、コロナ禍に対応した施設運営を行った。その中で、市民の交流と文化の向上を図る場としての役割を果たすことができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和し、会館の利用人数及び自主事業の来場者は前年度と比較して大きく増加している。令和4年度は相生市制施行80周年記念事業としての自主事業も開催し、例年より多い事業となったことから、様々な形で来館の機会を提供することができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	比較的高い年齢層と親子対象の事業を増やし、幅広い世代に来館いただけるように自主事業を企画した。また、出演料が不要など、経費のかからない助成のある公演を取り入れ、コストの節減に努めた。	あり
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	無線LANを導入してインターネット環境を整備したり、自主事業のロビーコンサートをYoutube配信したりするなど、来場できない方に対する利便性の向上を図るとともに、事業の周知啓発を効果的に行うことができた。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	自主事業及び貸館事業の周知啓発をイベント情報としてホームページ、フェイスブック等の媒体で定期的に行っている。また、公演等を補助していただく「ボランティアスタッフ」を育成し、市民参加のホール運営に努めている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	幅広い世代が参加できる事業を創出しながら、親しみのある会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで利用者にとって安心安全な会館を目指していく。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、幅広い年代の方々を対象に鑑賞と発表の両面から多彩な自主事業を計画し、市民が文化芸術に触れる機会の充実を図る。 また、計画的な維持修繕により、市民が快適に過ごすことができる施設の維持に努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010005	事務事業名	文化財事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市域に存在する文化財を適正に管理・保存する。		
対象	市域に存在する有形・無形・民俗文化財及び記念物		
目的	市民がふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化財保護法 兵庫県文化財保護条例 相生市文化財保護条例 相生市文化財保護条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.28	0.08	0.58	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.24	0.64	0.64	0.0	0.0
人件費計		2,238,207	1,549,383	4,721,802	0	0
事業費計		1,665,405	1,357,540	1,915,000	0	0
フルコスト		3,903,612	2,906,923	6,636,802	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		3,903,612	2,906,923	6,636,802	0	0
事業費計－特定財源		1,665,405	1,357,540	1,915,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市指定文化財の登録数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		1	1	1	1	
単年度実績値		0	1			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	100%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】市指定文化財の登録に掛かるコスト					
単位	円/1件					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		3,903,612	2,906,923	6,636,802	0	
単年度実績値			2,906,923			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市域に存する貴重な文化財を市民共通の財産として適切に保存し後世に引き継ぐことは不可欠である。	あり
有効性	B: 比較的有効である	計画的に市指定文化財を行うことは適切な文化財保護につながる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	現在は、最小限のコストで事業を行っているため、事業の充実に向けコスト拡大は不可欠である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	学芸員を募集したが、採用には至らなかった。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市指定文化財の登録にあたり報告書等を作成することで、文化財の歴史的価値が再認識される。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	学芸員の採用を計画していたが採用に至らなかった。 引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010006	事務事業名	資料館管理事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生の歴史、美術・文芸作品等に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行う。		
対象	市民		
目的	ふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を育む。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市歴史民俗資料館条例 相生市歴史民俗資料館条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.85	0.1	0.6	0.6	0.6
会計年度任用職員数		0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費計		6,472,681	2,229,664	5,390,894	5,390,894	5,390,894
事業費計		3,139,400	11,501,483	3,488,000	3,488,000	3,488,000
フルコスト		9,612,081	13,731,147	8,878,894	8,878,894	8,878,894

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	5,000,000	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		9,612,081	8,731,147	8,878,894	8,878,894	8,878,894
事業費計－特定財源		3,139,400	6,501,483	3,488,000	3,488,000	3,488,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】歴史講座及び史跡めぐりの述べ参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		300	300	300	300	
単年度実績値	349	290	304			
前年比	-	83.09%	104.82%	-	-	-
単年度達成率	-	96.66%	101.33%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】歴史講座及び史跡めぐりの参加者に係るコスト					
単位	円/1人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		32,040.27	45,770.49	29,596.3133	29,596.3133	
単年度実績値	8,675.3496	33,145.1069	45,168.2467			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	貴重な資料等を適正に保存・活用していくこと、市民に郷土の歴史・文化・民俗に理解を深めてもらう活動は市の責務である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	郷土資料を市民共通の財産として後世に引き継ぐ事は必要不可欠である。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	資料館活性化サポート事業により特別展、資料の収集・公開を行い、業務の効率化を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	学芸員の募集を行ったが、採用に至らなかった。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	歴史講座、特別展をとおして郷土の史跡・文化財の啓発を行う。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A: 拡大
所見	長年の懸案事項であった、空調設備の設置が完了した。 引き続き、貴重な資料が適切に保存することが出来る環境と来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201010007	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
対象	市民		
目的	各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市スポーツ顕彰に関する要綱		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.26	0.26	0.26	0.26	
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,686,856	0
事業費計		0	0	0	188,000	0
フルコスト		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,874,856	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	
県支出金		0	0	0	0	
市債		0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
フルコストー特定財源		1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,874,856	0
事業費計ー特定財源		0	0	0	188,000	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】スポーツ顕彰受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		58	58	58	58	
単年度実績値	9	24	24			
前年比	-	266.66%	100%	-	-	-
単年度達成率	-	41.37%	41.37%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	スポーツ顕彰受賞者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		30,422.4828	34,292.5517	29,083.7241	32,325.1034	
単年度実績値	1,911.1111	73,521	82,873.6667			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	各種目スポーツにおいて、成績の結果を顕彰することにより、受賞者にとって励みとなり今後の活躍に期待できる。	あり
有効性	A: 有効性が高い	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	あり
効率性	A: 効率性が高い	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	対象者を的確に把握することが求められる。	あり
透明性	A: 透明性が高い	定期的に各種スポーツ団体に対し該当者の照会を行っており、透明性が高い。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	功績に相応した顕彰を贈呈していく。
休止・廃止となったときの影響	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、功績に対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201020001	事務事業名	人権啓発事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	人権啓発活動を推進する
部名	教育委員会	課名	人権教育推進室
事業の開始	平成21年度	終了年度	なし
実施の概要	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発紙「ひとみ」の発行などを実施する。		
対象	すべての市民		
目的	市民一人ひとりが人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律／人権教育・啓発の推進に関する基本計画		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
会計年度任用職員数		0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
人件費計		7,035,968	7,820,604	6,863,057	6,863,057	6,863,057
事業費計		4,904,251	4,927,299	6,626,000	6,626,000	6,626,000
フルコスト		11,940,219	12,747,903	13,489,057	13,489,057	13,489,057

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		162,000	542,000	542,000	542,000	542,000
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		11,778,219	12,205,903	12,947,057	12,947,057	12,947,057
事業費計－特定財源		4,742,251	4,385,299	6,084,000	6,084,000	6,084,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値	1,281	1,867	1,672			
前年比	-	145.74%	89.55%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値	3,036.7908	6,395.4039	7,624.3439			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	人権問題の解決に向け、市民の人権意識の高揚を図る事業を実施することは行政の責務である。また、社会的ニーズに応えるためにも、人権に関する有益な情報を提供し、市民の人権に対する関心を高めていくことが求められる。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新たな人権問題や市民にとって身近な人権問題など、ニーズや社会状況に沿った啓発紙を作成し、市民に人権の学びの機会として認識が広がるなど成果を上げている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	庁内連携を推進し、事業のPRやスタッフの協働を図ることで、事業実施に向けて効率性を高めることができた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民の人権意識を高めることにより、地域のつながりを大切にし、安全・安心な暮らし、住みやすいまちづくりにつながっている。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市民人権学習会において、各種団体に呼びかけることで、参加者の年齢層や所属などに広がりがみられる。また、啓発紙を全戸配布することで、広く市民に対して、人権を学ぶ機会を提供できている。啓発紙「ひとみ」の作成をした。(年4回)啓発紙「澄んだ瞳」を作成した。(年2回)	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数が減少した事業もあったが、概ね予定通り開催することができた。今後、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
休止・廃止となったときの影響	休止・廃止となった場合、市民の人権意識の荒廃と地域の絆が薄まるのが危惧される。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	市民が参加しやすい環境を整え、新しい人権問題をはじめ、さまざまな人権課題について考えとともに、学びを通して人と人とのつながりの大切さについても再認識し、住民間の絆をさらに深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201030003	事務事業名	公民館活動事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する		
対象	市民		
目的	市民が文化的生活を営む上での支えとなる		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.18	0.18	0.14	0.0	0.0
会計年度任用職員数		6.68	7.1	7.1	0.0	0.0
人件費計		10,628,476	11,776,183	11,545,157	0	0
事業費計		4,888,433	4,872,404	5,059,000	0	0
フルコスト		15,516,909	16,648,587	16,604,157	0	0

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		15,516,909	16,648,587	16,604,157	0	0
事業費計ー特定財源		4,888,433	4,872,404	5,059,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期講座、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		8,420	8,800			
前年比	-	-	104.51%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	参加者一人当たりコスト					
単位	事業費÷参加者数(定期+随時講座)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		1,842.8633	1,891.8849			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	青少年の健全育成、高齢者の社会参加を促進することや生涯学習を支援する	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに対応した講座を開催し、市民の生涯学習を支援する	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	年1回募集の定期講座のほか随時講座を行い、少しでも受講者が希望の内容の講座を受けられるよう務めている	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、チラシ、館内掲示等で情報提供を行っている	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域に対し公民館が募集している講座等をPRし、住民の文化活動を支えていく。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化活動に支障が出る

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティーの拠点として同好会活動の活発化に努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201030005	事務事業名	多目的研修センター活動事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる		
部名	教育委員会	課名	生涯学習課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
対象	市民				
目的	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的を持った自主グループの活動の場の提供、地域学習の生涯学習、コミュニティ活動の場とする				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令					

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.09	0.09	0.09	0.0	0.0
会計年度任用職員数		1.34	1.42	1.42	0.0	0.0
人件費計		2,497,802	2,768,329	2,711,281	0	0
事業費計		835,850	824,602	878,000	0	0
フルコスト		3,333,652	3,592,931	3,589,281	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		3,333,652	3,592,931	3,589,281	0	0
事業費計－特定財源		835,850	824,602	878,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		1,323	1,238			
前年比	-	-	93.57%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		2,519.7672	2,902.206			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	地域住民の文化活動に貢献することに妥当性がある	なし
有効性	A: 有効性が高い	地域住民のニーズに合わせた講座を開催するよう努めている	なし
効率性	B: 比較的効率的である	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	年1回募集の定期講座に加え随時講座を実施し市民が関心のある講座に少しでも参加できるよう努めている	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおいやチラシ、館内掲示等の情報提供を行っている	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化活動に支障がある

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティーの拠点として同好会活動の活発化に努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201030007	事務事業名	高齢者教育事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	午前中に教養講座、午後に専門講座(歴史・園芸・保健体育)を年10回実施している。また、年2回公開講座として、一般の方も参加可能な講座を実施している。		
対象	満60歳以上の市民		
目的	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいを持って自立した生活がおくれる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.22	0.22	0.44	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.4	0.66	0.56	0.0	0.0
人件費計		2,056,329	2,649,658	3,693,642	0	0
事業費計		1,199,142	1,253,860	1,303,000	0	0
フルコスト		3,255,471	3,903,518	4,996,642	0	0

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		877,000	1,303,000	1,303,000	0	0
フルコスト-特定財源		2,378,471	2,600,518	3,693,642	0	0
事業費計-特定財源		322,142	-49,140	0	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】自治会開催数					
単位	回数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		7	10			
前年比	-	-	142.85%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		465,067.2857	390,351.8			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	高齢化率の高い本市において、ニーズが非常に高いため、地域社会での高齢者の活躍の場の充実を図る。	なし
有効性	B: 比較的有効である	高齢者が気軽に集い、参加しやすい学習活動の場や機会をつくり、積極的な地域社会活動への参加を促す。	なし
効率性	A: 効率性が高い	以前は講座後に謝礼を現金で渡していたが、一律口座振込による事務の簡素化を実施した。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	令和4年度も、新型コロナウイルス感染対策により募集人員を300人に限定しつつ、高齢者の活躍・交流の場の充実を図るために実施した。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	広報折込チラシで学生を募集している。また、年2回誰でも参加できる公開講座を実施しているが、4年度は、新型コロナウイルス感染対策により、学園生のみでの参加とした。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。
休止・廃止となったときの影響	廃止になった場合、高齢者が学ぶ機会を失う。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	定年延長や学習手段の多様化などで、金ヶ崎学園大学の受講者数は減少傾向にあるが、集団で新たに学ぶ機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識と経験を活かせる取組みが必要。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040001	事務事業名	市民体育館管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実に図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民体育館利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民体育館条例 相生市民体育館条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.34	0.34	0.34	0.34	
会計年度任用職員数		0.11	0.11	0.11	0.11	0.0
人件費計		2,462,332	2,762,072	2,370,685	2,370,685	0
事業費計		15,868,965	22,408,923	156,045,000	156,045,000	0
フルコスト		18,331,297	25,170,995	158,415,685	158,415,685	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	7,300,000	140,500,000	140,500,000	
	その他	2,180,373	2,368,000	2,800,000	2,800,000	
フルコスト－特定財源	16,150,924	15,502,995	15,115,685	15,115,685	0	
事業費計－特定財源	13,688,592	12,740,923	12,745,000	12,745,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民体育館利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		100,000	100,000	100,000	100,000	
単年度実績値	53,209	68,259	75,899			
前年比	-	128.28%	111.19%	-	-	-
単年度達成率	-	68.25%	75.89%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民体育館利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		183.313	251.71	1,584.1569	1,584.1569	
単年度実績値	358.3666	268.555	331.638			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルス禍で利用のキャンセル等があったが、競技場をはじめとする各室の利用が微増となった。	あり
効率性	A: 効率性が高い	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040002	事務事業名	市民プール管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、市民プール維持管理運営業務を行う。				
対象	市民、市民プール利用者				
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行う。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立市民プール条例 相生市立市民プール条例施行規則				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.08	0.08	0.08	0.08	
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		542,924	611,990	519,032	519,032	0
事業費計		6,200,000	6,246,200	6,500,000	6,500,000	0
フルコスト		6,742,924	6,858,190	7,019,032	7,019,032	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	
県支出金		0	0	0	0	
市債		0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
フルコスト－特定財源		6,742,924	6,858,190	7,019,032	7,019,032	0
事業費計－特定財源		6,200,000	6,246,200	6,500,000	6,500,000	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		3,400	3,400	3,400	3,400	
単年度実績値	1,631	1,897	2,238			
前年比	-	116.3%	117.97%	-	-	-
単年度達成率	-	55.79%	65.82%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		1,983.2129	2,017.1147	2,064.4212	2,064.4212	
単年度実績値	3,984.7946	3,554.5198	3,064.4281			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	新型コロナウイルス禍ではあったが、学校授業として利用することができ、また、一般利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、開場情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。
休止・廃止となったときの影響	学校授業としての利用ができなくなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040003	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民グラウンドの管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民グラウンド利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、スポーツの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民グラウンド条例 相生市民グラウンド条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.36	0.36	0.36	0.36	
会計年度任用職員数		0.07	0.07	0.07	0.07	0.0
人件費計		2,541,735	2,856,482	2,440,517	2,440,517	0
事業費計		3,896,321	9,179,164	6,007,000	6,007,000	0
フルコスト		6,438,056	12,035,646	8,447,517	8,447,517	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	509,437	400,000	660,000	660,000	
フルコストー特定財源	5,928,619	11,635,646	7,787,517	7,787,517	0	
事業費計ー特定財源	3,386,884	8,779,164	5,347,000	5,347,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民グラウンド利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		18,000	18,000	18,000	18,000	
単年度実績値	11,535	15,917	17,761			
前年比	-	137.98%	111.58%	-	-	-
単年度達成率	-	88.42%	98.67%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民グラウンド利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		357.6698	668.647	469.3065	469.3065	
単年度実績値	755.2754	404.4767	677.6446			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れている。	あり
有効性	B: 比較的有效である	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。新型コロナウイルス禍で利用のキャンセル等があったが、利用者数は持ち直しつつある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対処により効果的に最小限の費用で対応できている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040004	事務事業名	温水プール管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、温水プール維持管理運営業務を行う。				
対象	市民、温水プール利用者				
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例施行規則				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.3	0.3	0.3	0.3	
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		2,035,966	2,294,963	1,946,373	1,946,373	0
事業費計		30,651,099	21,757,354	24,327,000	24,327,000	0
フルコスト		32,687,065	24,052,317	26,273,373	26,273,373	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	2,000,000	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	514,800	514,000	514,000	514,000	
フルコスト－特定財源	32,172,265	21,538,317	25,759,373	25,759,373	0	
事業費計－特定財源	30,136,299	19,243,354	23,813,000	23,813,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】温水プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		100,000	150,000	150,000	150,000	
単年度実績値	101,074	98,854	120,208			
前年比	-	97.8%	121.6%	-	-	-
単年度達成率	-	98.85%	80.13%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	温水プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		326.8707	160.3488	175.1558	175.1558	
単年度実績値	424.7552	330.66	200.0892			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	新型コロナウイルス禍であるが、利用人員は大きく増加し、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040006	事務事業名	社会体育振興事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21ひょうごの推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。				
対象	市民				
目的	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令					

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.65	0.65	0.65	0.65	
会計年度任用職員数		0.11	0.11	0.11	0.11	0.0
人件費計		4,566,164	5,133,534	4,381,938	4,381,938	0
事業費計		1,744,841	2,010,469	2,371,000	2,371,000	0
フルコスト		6,311,005	7,144,003	6,752,938	6,752,938	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	319,000	225,000	150,000	150,000	
フルコスト－特定財源	5,992,005	6,919,003	6,602,938	6,602,938	0	
事業費計－特定財源	1,425,841	1,785,469	2,221,000	2,221,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市民体育大会等実施数					
単位	種目					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		19	19	19	19	
単年度実績値	12	15	17			
前年比	-	125%	113.33%	-	-	-
単年度達成率	-	78.94%	89.47%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民体育大会等1種目あたりのフルコスト					
単位	円/種目					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		332,158.1579	376,000.1579	355,417.7895	355,417.7895	
単年度実績値	148,607.5	420,733.6667	420,235.4706			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	スポーツ種目を幅広く網羅し、事業を実施できている。 全国大会等出場選手を激励することにより、今後の選手の活躍および競技種目の発展に期待できる。	あり
有効性	B: 比較的有効である	各制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040007	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。		
対象	市民(ジュニア層)		
目的	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.63	0.63	0.63	0.63	
会計年度任用職員数		0.13	0.13	0.13	0.13	0.0
人件費計		4,458,598	5,009,830	4,282,142	4,282,142	0
事業費計		538,740	1,626,390	1,600,000	1,600,000	0
フルコスト		4,997,338	6,636,220	5,882,142	5,882,142	0

### (2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	319,000	330,000	295,000	295,000	
フルコスト-特定財源	4,678,338	6,306,220	5,587,142	5,587,142	0	
事業費計-特定財源	219,740	1,296,390	1,305,000	1,305,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】ジュニアスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		14	14	14	14	
単年度実績値	7	6	12			
前年比	-	85.71%	200%	-	-	-
単年度達成率	-	42.85%	85.71%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	ジュニアスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位	円/事業					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		356,952.7143	474,015.7143	420,153	420,153	
単年度実績値	55,714.2857	832,889.6667	553,018.3333			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	新型コロナウイルス禍の中でも可能な範囲でジュニア対象の事業を実施し、体力向上の機会を提供できている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	大会や教室への参加により、競技力の向上が図られている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減が図られている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでているため、関係団体との連携、調整により日程や事業内容を検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040008	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。		
対象	市民		
目的	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.77	0.77	0.77	0.77	
会計年度任用職員数		0.21	0.21	0.21	0.21	0.0
人件費計		5,521,373	6,197,987	5,310,302	5,310,302	0
事業費計		2,411,164	3,290,982	3,470,000	3,470,000	0
フルコスト		7,932,537	9,488,969	8,780,302	8,780,302	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	319,000	465,000	465,000	465,000	
フルコスト－特定財源	7,613,537	9,023,969	8,315,302	8,315,302	0	
事業費計－特定財源	2,092,164	2,825,982	3,005,000	3,005,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】レクリエーションスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		20	20	20	20	
単年度実績値	14	15	19			
前年比	-	107.14%	126.66%	-	-	-
単年度達成率	-	75%	95%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	レクリエーションスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		396,626.85	474,448.45	439,015.1	439,015.1	
単年度実績値	149,392.4286	528,835.8	499,419.4211			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	レクリエーションスポーツへの興味や参加意識が強く、参加数は安定している。	あり
有効性	B: 比較的有効である	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、スポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	010201040009	事務事業名	スポーツ教室事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実に図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。		
対象	市民		
目的	初心者を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツに関心をもってもらい、基礎的な知識と技術の習得および健康増進につなげる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 スポーツ基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.06	0.06	0.06	0.06	
会計年度任用職員数		0.12	0.12	0.12	0.12	0.0
人件費計		576,179	634,753	569,051	569,051	0
事業費計		817,290	799,500	872,000	872,000	0
フルコスト		1,393,469	1,434,253	1,441,051	1,441,051	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	570,000	750,000	750,000	750,000	
フルコスト－特定財源	823,469	684,253	691,051	691,051	0	
事業費計－特定財源	247,290	49,500	122,000	122,000	0	

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】スポーツ教室参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		280	280	280	280	
単年度実績値		239	255			
前年比	-	-	106.69%	-	-	-
単年度達成率	-	85.35%	91.07%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	スポーツ教室参加者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		4,976.675	5,122.3321	5,146.6107	5,146.6107	
単年度実績値		5,830.4142	5,624.5216			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	スポーツ教室は健康を維持し、生涯にわたりスポーツを楽しむという面からも有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルス禍で参加者離れが顕著であるが、参加者数は昨年度より増加し、6教室を開講することができた。有料であるため出席率は比較的高いが、教室の実施内容によっては、参加者増加にまだ向上の余地がある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	各教室とも開催時期は4～7月、9～12月、1～3月の3期、開催回数は1期あたり10回、開催時間は1回あたり90分と、教室の開催時期や回数、時間ともに最適である。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	これまで参加することができなかった働き世代に向け、受講しやすい夜間帯に教室の開講を行っている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙への掲載、幼稚園等へのチラシ配布により、広く教室開催等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。
休止・廃止となったときの影響	類似の教室がないため、スポーツの場を提供できなくなり、スポーツに自発的に参画する機会が失われ、心身の健康増進等の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。